



市町村アカデミーかえる叢書 VOL.2

魅力ある 街づくりの 新展開

市町村アカデミー監修



市町村マカデミーから見る書画 VOL.2

魅力ある

街づくりの

新展開

市町村マカデミー監修

魅力ある街づくりの新展開

——市町村アカデミーかえる叢書 Vol.2——

平成3年7月15日 初版発行

平成16年1月30日 9版発行

監 修 市町村アカデミー

発 行 株式会社 **ぎょうせい**

本 社 東京都中央区銀座7の4の12(〒104-0061)

本 部 東京都杉並区荻窪4の30の16(〒167-8088)

電 話 編集 03(5349)6616

営業 03(5349)6666

URL <http://www.gyosei.co.jp>

印刷・ぎょうせいデジタル(株)

製本・一色製本㈱

乱丁、落丁本はおとりかえます。

© 1991 Printed in Japan

ISBN 4-324-02769-2

(5103672-00-000)

[略号：かえる叢書(2)]

序

市町村アカデミー（市町村職員中央研修所）は、最近における社会経済情勢の急激な変化に的確に対応しようとする全国の市町村からの強い要請に応え、高度で魅力ある研修を行うことにより、地域人材育成のための中央研修機関としての役割を着実に果たしつつあります。

昭和六二年一〇月に開講して以来、市町村アカデミーで研修を受講した市町村職員等の総数は、平成二年度末で約一万四、〇〇〇人に達し、この間にお迎えした講師の方々は、大学教授、中央官庁の行政官に加え、地方自治体の首長、民間企業の役職員、弁護士、評論家など幅広い分野にわたっております。

中央の最先端の情報や地域の実践的な情報の提供を大きな眼目として実施されている研修への受講希望者は年々増加しており、最近では、なかなか希望に応じきれないような状況もみられるようになってきました。

この「市町村アカデミーかえる叢書」は、今まで市町村アカデミーにおいて実施された講義などの要点をとりまとめ一冊の本とし、研修受講者にとっては有用な参考書となるように、また、研修を受講する機会のない方々にとっては自己研修のための教科書としての役割を果たすことができるように企画したものです。

市町村アカデミーの英語名 (Japan Academy for Municipal Personnel) の略称はJAMPです。日本語の読み方としてはJump II ジャンプにも通じますので、柳の枝にジャンプする「かえる」を、市町村アカデミーのキャラクターとしています。本書を、明日へ向かっての大きな跳躍のために広く愛用していただければ幸いです。

平成三年七月

市町村アカデミー学長

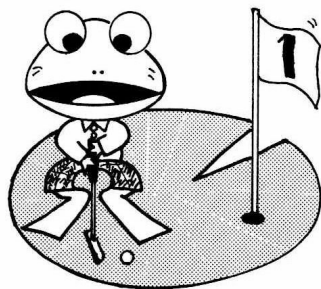
矢野 浩 一 郎

は し が き

全国から集まった研修生の皆さんは、この講義をもう一度聞きたい、もっと時間があればとか、仲間にも聞かせたいといった感想を、アンケートに残して市町村アカデミーを去って行きます。

幕張メッセで有名な千葉市幕張新都心の一角に建てられた全寮制の市町村アカデミーは、最長でも一〇日間という短期間に、集中的に実務的な研修を実施しています。講義の内容は、専門的で密度が濃く、多彩であるのが特色です。

その講義を、できるだけ生のままで本にして提示したいというのが監修担当者としての本音です。同時に、一つのコースの研修が一冊の本にまとまっていて、読みやすいというのも大変重要なことです。この矛盾した二つの要請を両立させるため、やむなく講義のエッセンスだけを集録することとさせていただきますました。



また、ここに集録しました内容は、実際に行われた研修コースから抜粋しておりますので、他の時期に実施された同一名称の研修コースの講師陣とは必ずしも一致するものではありません。それぞれにすばらしい講義が行われており、すべてを御紹介したい気持ちでいっぱいですが、この点は特に御容赦願いたいと存じます。

本書は「市町村アカデミーかえる叢書」としてシリーズで発刊いたしておりますので、続けて御愛読いただくようお願いいたしますとともに、読者諸氏の御意見、御感想を頂戴いただければ幸いに存じます。

平成三年七月

市町村アカデミー教授・研修部長

阿部 孝夫

——市町村アカデミーかえる叢書
vol.2——

魅力ある街づくりの新展開／目次

1 環境問題とアメニティ……………1

アメニティ論の出発と環境問題 ③

高度経済成長と環境問題 ⑥

アメニティ論の起源 ⑪

環境アセスメントとアメニティ ⑬

イギリスの歴史に学ぶ ⑰

2 アメニティ素材の発見と活かし方……………21

アメニティのチエックポイントとその意味 23

生きた街づくり 27

アメニティの重要性 34

アメニティの構成要素とアメニティ・タウン計画 45

アメニティ素材の発見と活用 55

3 魅力づくりのための都市計画 65

新しい潮流と街づくり 67

地域整備のポイント 71

これからの都市計画の視点 74

新しい課題の克服 79

住民との関係 82

4 街づくりにおける情報処理技法……………87

街づくりも情報化時代 89

情報処理技法とは 90

なぜ画像情報か 92

景観の評価——ヒトの目 94

行政施策への展開 101

地域の個性 102

景観の評価——トリの目	103
リモートセンシングの利用	105
地域環境から地球環境へ	110
住民参加による街づくり	111
さあ、やってみよう	112

5 都市のデザイン.....	115
----------------	-----

さあ、次の段階だ	117
まちづくりの視点	119
景観デザインの基本パターン	141

6	都市におけるワイルドライフ……………	145
---	--------------------	-----

都市におけるワイルドライフとは ⑬ 147

野生動物のいる環境 ⑫ 160

自然がもたらす恩恵 ⑪ 165

都市における自然の復活 ⑩ 171

生きた自然は教育を助ける ⑨ 174

7	まちづくりと文化行政.....	181
---	-----------------	-----

観光客増加とまちの再発見	183
町並保存への積極的な取り組み	198
高山のまちづくり新時代	211

8	越谷市の街づくり.....	217
---	---------------	-----

街づくりの理念	219
工夫とその実行	226
安全・便利・快適性の均衡	229

環境問題とアメニティ

市町村アカデミー教授

阿部孝夫

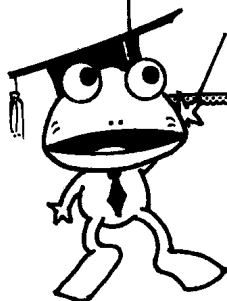
アメニティ論の出發と環境問題
／ 3

高度經濟成長と環境問題／ 6

アメニティ論の起源／ 11

環境アセスメントとアメニティ
／ 13

イギリスの歴史に学ぶ／ 17



戦

後の高度経済成長のなかで、悪化を続けた環境汚染。今、経済も安定成長期に入り、公害対策は進んだが、生活の質、環境の質、すなわち「アメニティ」ということになる、依然として低レベルなのが現状である。

「枕草紙」における「いとをかし」こそがアメニティそのもの」と語る市町村アカデミーの阿部孝夫教授。アメニティの起源や、環境アセスメントとアメニティの関係、さらにはイギリスにおけるアメニティの変遷などから、今、魅力的な街づくりに必要不可欠とされる「快適環境」を追求する。

